

1192

閣

第一六一七號

主務局長

受領提出

明治九年七月十九日

明治九年七月七日

明治九年七月十日

聯帶局長

滿經第三七五號

聯帶局長

裁

決

大臣

件

番受

領號

名

滿經第三七五號 榎大島三郎 露國人白漢坊財産関件

廳名 外務省

紅

次官

參事官

主務局長



高級副官

主務課長



主務課員

主計

主務副官



聯帶局長

審案筆記者



大臣ヨリ外務大臣ニ由リて

樺太島ニ於ケル露路國人田漢場ノ財産ニ関シ機密

送第九七号ヲ以テ照會ノ件樺太守備隊司令

官ヨリ別紙寫通申出候可然露國公使ニ由

テ相成度

滿發第二九二七號

七月十日





三

1194

本月十五日付ヲ以テ露國人旧漁場ノ財産ニ關シ御
 照會之趣了承右ハ「クラマレンコ」ノ代理人ニ對シテハ
 五月五日付ヲ以テ又「セメノフ」商會ノ復代理人ニ對シ
 テハ四月廿七日付ヲ以テ當該漁場ニ在ル漁業上必
 要ナル建物其他ノ財産ハ軍令ノ規定ニ依リ無
 償ニテ官ノ所有ニ歸シタル旨通知ニ及ヒ候處詮
 議ヲ要スル稟有之「クラマレンコ」ノ分ニ對シテハ五月
 十四日付ヲ以テ又「セメノフ」商會ノ分ニ對シテハ同月
 十七日付ヲ以テ一應右處分ヲ取消ス旨關係者ニ通
 知シ處分ノ施行ヲ猶豫シタル次第ニ有之候又「セ
 メノフ」商會ノ代理入ト日本人トノ間ニ於ル建物漁具
 等ノ貸貸借ニ就テハ軍令第十八號ノ規定上官憲

係

六月十九日

六月十九日

。於テ公認スル限ニ無之候ニ付其ノ契約ノ内容及
相手方等ニ就テハ周ヨリ開知セサル儀ニ有之候條
右様御承知相成度此段及回答候也
明治三十九年六月十九日

樺太守備隊司令官山田保永

代理

樺太民政署民政長官熊谷喜一郎



陸軍次官石本新六殿

追テ別紙及御返送候也

次官ヨリ樺太守備隊司令官照會格

樺太島ニ於テ人露國人舊漢場ノ財産ニ関シ別
紙ノ通外務大臣ヨリ照會有之候条右ノ對シ
詳細ノ事項申報相成度

進テ別紙ハ申報ノ際返却相成度

送達 陸軍省 達 滿發第二九〇二號

六月十五日

田

存本
政長

照會格

賦産之周別

以条右之對

度

二號

六月十五日

田

存書之旨均累之然若氏
政長之至急之交付之
多事

1198

主計

漢書

1199

九十七號

滿堂乾第三七四號

六月十三日

第九一號

六月十四日

樺太島に於ては、省吾人舊漢場、財産
 不承に思ふ般、省吾公使より提出せん
 不承覚生に依りてセメノコトデニビ一多民ノ
 漢場、於ては建物漢具等之ヲ日人
 後貸し居契約書中、候財産ハ漢業
 者、姑置テ加ハサレナル旨揚記シテ先
 拘ラス没収セラレタル款又外ラマレコト民
 漢場ヨリ曩に没収セラレタル財産ニ付テ
 去五月十日官島及實ヨリ進テ層
 詳細ハ本調アル迄之没収ラ承清ス旨同
 氏、代理人ト向テ面談セラレタル概ニ多ク我交
 指ハ金々真正ト云々、實ニ否ク成又セメ

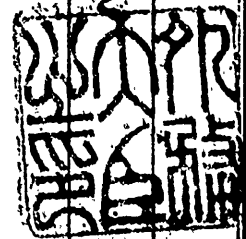
ノコトデビローニ事氏ノ漢場ヨリ没收セラシムル財
 産ニ對シテモ同様之情ノ由ヨリ著シタル以
 テ其ノ及リ及ル家ニ然ラスラスレハ同シク軍
 ノ規定ノ基キ没收セラシムル財産ニ乘シ二者ノ
 旨、取相上ノ事トシテ没テタルハ採シテ其ノ大體
 由ニセテタルモノニ其ノ特又前記ノ一項ニ乘シ
 セメノコトデビローニ事氏ヨリ遺物漢具等ヲ没
 償セハ日本ノ下ニ没札ノ情ニ漢場ヨリ取
 レタルモノ、有リ其ノ裁又ハ金ヲ漢場ノ業
 務ニ実係ナキ者ニ乘シ其ノ裁、度正公使ハ
 回答ノ趣旨モモシク其旨上記ノ諸點ハ概查ノ
 上ニ急ニ其旨ヲ成ル様致シ其旨及照會
 事也

様方字留録目録左記事
 百、海付之ノ事也

明治九年六月二十日

大正大臣府林董

陸軍大臣寺内正毅殿



外務省

附文

去ル二月申一、コザコフ^ノ氏^ハ在サガレ^シ日本及實ノ
 著布^シ規則^ニ就キ^テ加^ヘ及^テ下^ノ注意^ヲ促
 セ^リ而^シ多^ク後^ニ規則^ノ規定^ニ依^リシ^テ同^ノ島^ニ於^テシ
 底^ニ玉^ヲ借^入ス^ル者^ノ財^産ハ^シ之^ヲ他^ニ搬^送ス^ルカ
 最^モ多^ク矣^ト却^シセ^ルハ^カラ^サシ^モニ^テ一^ノ者^ハ至^ル人^ノカ^ハ右^ニ
 稱^シ方法^ニ依^リシ^テ其^ノ財^産ヲ^シ分^割セ^ルト^キハ^漢
 場^新借^入ス^ル者^ノ財^産ト^シテ^ハ為^ラサ^シモ^シラ^ズ除^ク亦^ハ其
 ノ^財産^ヲ没^收セ^ラル^コト^アル^ハキ^モト^シテ^ハ為^セリ
 又^ハメ^クコ^ノデ^ニビ^シト^キハ^其氏^ハ其^ノ財^産（建^物、漢^具等）
 日本^人、漢^人、其^ノ契^約書^中ニ^テ後^ニ財^産
 漢^業者^ノ財^産ヲ^加入^セル^コト^ヲ旨^シテ^ハ掲^記ス^ル

ト
漢
業
者
ノ
財
産
ト
シ
テ
ハ
為
ラ
サ
シ
モ
シ
ラ
ズ
除
ク
亦
ハ
其
ノ
財
産
ヲ
没
收
セ
ラ
ル
コ
ト
ア
ル
ハ
キ
モ
ト
シ
テ
ハ
為
セ
リ

然ルモ拘ラス曰氏等、前記財産他ノ處國
 借込人ケラシレシコノ所ニ財産ト均シク没收セ
 ラレヨリ
 然レコト年々十管付タリテサカレシ在實ハケラマレシコ
 氏ノ代理人ニ向ヒ追テ一層詳細ノ取調ア
 ルマテ曰氏財産、没收ヲ取前ニ為ラシ百金ナ
 シヨリ
 如日本及實、諸ノ為ニ一方ニ於テサカレシ
 多山ニ於テハ一爲ニ特許漢進ニ取テ、亦決
 定セラシガレシ中ノ早計ニ決シテハモト認メラレ
 他ノ一方ニ於テ日本及實、右者及及取消系
 合ニ處ニ備込者、利 益ニ至テハ、損害
 ラシクアルモノナリ 然レハ是レ右備込者等ヲシテ常

得ルヤツルニト能ハサルニモノヤレハナリ
 程及マテ自己ノ権利ヲ享有ス

外
 家
 官